

平成27年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京大学	主たる交流先	中南米諸国
事 業 名	チリ・ブラジルとの連携による理工フロンティア人材の育成		

〔評価コメント〕

本事業計画は、既に着手している天体観測や海洋開発技術等に関する大学間交流を強化して、国際性、俯瞰的視野、自然科学の深い知識を合わせ持ち、自然環境・地球資源の持続性の重要性を理解し、環境と調和した技術開発や資源探査を国際的視野で実現することのできる人材を育成するものであり、相手国のニーズを十分に踏まえた戦略的な取組である。大学全体としても、近年の関連する取組の成果を活かした国際化対応が進展していることから、実現性と安定性が高く評価できる。

また、学生交流と教員交流というオーソドックスな形式で構築された着実な事業計画となっており、平成27年度から開始された4ターム制によりアカデミックカレンダーをうまく整合させ、無理のない交換留学の実施が期待される。

一方で、派遣・受入学生数がやや消極的であることが懸念されるため、留学希望者の増加に向けて、学生にとって魅力ある交流プログラムや仕組みについて、踏み込んだ工夫が求められる。また、派遣学生に対するカリキュラムや成績評価方法などについて、具体性に富んだものとなるよう、更なる検討が求められる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日本と中南米諸国との関係を見据え、中南米諸国との間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。